

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成27年11月16日（月）
 開催時間：9時57分～12時17分
 開催場所：全員協議会室

〔出席議員〕

西田議長、平石副議長
 足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員
 上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員
 道下議員、田畑議員、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員
 牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市 長、副市長、教育長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、~~三隅自治区長~~
 総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長
 都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長、教育部長、消防長
 上下水道部長（広域行政組合事務局長）

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長、庶務係長

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 第2次浜田市総合振興計画（案）等について
- (2) シングルペアレント介護人材育成事業の受入及び募集について
- (3) 浜田市地域公共交通再編計画（案）について
- (4) 浜田城周辺整備検討会の設置について
- (5) 浜田市ふるさと寄附の状況について
- (6) 「浜田市火葬場整備計画」に対する葬祭会館等の意見
- (7) 浜田港長期構想検討委員会について
- (8) 「故石本正先生を偲ぶ会」について
- (9) 旭温泉あさひ荘木質チップボイラの状況について
- (10) 市街地下水道整備事業計画の見直しについて
- (11) その他

（配布物）

- ・米軍機低空飛行訓練による騒音等の状況について
- ・海上自衛隊艦艇物資補給基地誘致の要望活動について
- ・平成27年度税制改正について
- ・浜田市国民健康保険等ドック事業及び特定健診事業の自己負担金の改定等について
- ・マイナンバー（個人番号）相談窓口の開設について
- ・浜田市デジタルフォトコンテストについて
- ・浜田市プレミアム付共通商品券の販売状況について
- ・漁業別水揚げについて
- ・サン・ビレッジ浜田 スポーツ広場の整備について
- ・旭図書館移転事業について
- ・美又温泉国民保養センターについて

- ・三隅中央会館和紙の郷（石州和紙会館）について

2 その他

地域井戸端会について

【詳細は会議録のとおり】

西田議長

これから全員協議会を開催する。

1. 執行部報告事項

(1) 市内県立高校のあり方について

(2) シングルペアレント介護人材育成事業の受入及び募集について

(3) 浜田市地域公共交通再編計画（案）について

(4) 浜田城周辺整備検討会の設置について

西田議長

この4件について一括で説明をお願いします。地域政策部長。

地域政策部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わった。(1)について議員から質問は。

(「なし」という声あり)

西田議長

では(2)について。笹田議員。

笹田議員

これは定住が目的だと思うが、浜田市は制度が終わった途端に放任されることがよくあるので心配している。研修制度の終了後に浜田市にいていただくことも必要だと前回の予算委員会でも言わせて貰ったが、それについて今後の見通し等々、何か研修後に研修生に残って貰えるような考えがあれば。

地域政策部長

この事業の研修期間は1年となっているが、基本的には研修後の介護職場、人材が不足している所に就労してもらい、長期で働き定住していただくことを目的としている。市が支援するのは、未経験者が来られた時に事業所が人件費を負担する等、色々な手当での負担が大きいということで、ある程度介護職場でのマンパワーとなっていくまでの道筋をつけるための研修であり、基本的には2年目以降定住することを条件に求めているし、研修終了後の100万円の報奨金も、定住を条件にしている。就労を継続するためには住みよい環境で生活していただくことも重要なので、生活支援員を配置、これは1年間を想定しているが、必要であればサポートしなければいけないと思っているし、先般の意見交換会（市長歓迎会）でも皆さん非常に来られて、地域の方が親切に色んな面倒を見ていただける。例えば野菜やお米をいただいたり、色んなアドバイスをしてくれる等、都会にない良い環境。もう1つ言われたのが、子どもを育てるには都会に比べて良い。例えば喘息持ちの子どもさんが、こっちに来て症状がなくなっただけかと言っただけかということ、長く住んでいただけることを想定しているので、それはご本人にも伝えている。更にサポートしながら、研修が1年で終わっても職場で長く働いていただけるよう、問題点があれば改正しながらやっていきたいと思う。

笹田議員

以前、徳島にも視察に行かせてもらったが、手厚い支援があればある程、なくなった瞬間に冷たいと感じるらしい。そうでなく、伊座利に行った時は、この土地が好きなら来みたい感覚で定住されている方が多くて。手厚い援助が終わった後が大事だと思う。折角4名も住んでおられるのだから、その事業者に頼りきりではなく、完全に定住するまではしっかりサポートしてあげる必要があると思うのだが。

地域政策部長

受入事業のベースになっているのが、これまでもやっていた農業研修

生受け入れ事業。弥栄地区ではもう10年以上やっておられる。その研修も今は1年から3年くらいやっていて、その後のサポートに色々問題点があったことは承知している。これまでやった他の研修事業等も参考に、研修が切れた後にどのようなサポートが必要かもある程度聞いているので、しっかり支援しながら少しでも長く住んでもらえるよう支援したい。

西田議長
足立議員

他に。足立議員。

来年度も継続するとのことだが、介護人材が不足しているというお話で、では執行部は浜田市全体でどの程度不足しているのかについては、把握されていないといった答弁があった。にも関わらずこれを継続するということは、当然介護現場の人材が不足していることを部長はお考えだと思う。ではどの程度不足していて、今後來年もやって合計8人、再来年度もするのかどうか、見通しをお聞かせいただきたい。

地域政策部長

介護職場といっても今は特別養護老人ホームを中心にやっているが、デイやその他色々な介護施設がある。それぞれの事業所に受入希望の調査もさせていただいた。特別養護老人ホームが、是非こういう事業をしたいので人材を受け入れたいと、挙手したのが4事業所ある。実際は4名以上来てもらっても良いという声をもらっているが、予算等の都合により来年度に4名の受入をする。来年度以降にこれを継続するにあたっては、他の介護職場等や福祉部とも相談し、必要であれば継続する。看護職場や保育職場の情報調査もしている。現メニューをそのまま持っていくかは分からないが、必要であれば人材不足の様々な職場に配置して、少しでも人材不足と定住支援、両方の切り口で人を増やせるよう、地域の皆さんと一緒に頑張って応援が出来るような体制を組みたい。

足立議員

今回特養が3人、高齢者生活支援住宅が1人とのこと。事業開始前に担当課にうかがったところ、今回はモデルケースなので職員を募集するイベントに参加した事業所さんを優先的に選んでいるというお話を伺った。施設は老健もあるしサ高住もある、もっと言うと地域密着型施設もあるし訪問系サービスもある。来年度に予定している方については、また特養が中心になるのか、他の施設も視野に入れるのか。

地域政策部長

来年4月の4名については特養を想定している。今回は市ばかりでなく事業所負担もご理解いただいてこういう制度を使って人材確保したいという希望があった所をお願いしている。特養の方がそういう希望が多く出ていたが、特養限定ではないので情報発信しながらその他職場にも対応していきたい。

西田議長

他に。

(「なし」との声あり)

西田議長

無いようなので(2)については終了する。(3)について質問があれば。江角議員。

江角議員

この計画案を初めて見られた議員もおられるだろうし、私も先日の調査会で初めて見させてもらったので、当初スケジュール案があったと思うが、議員や市民の意見聴取の機会、聞いて意見が反映出来る機会があるのか。

地域政策部長

議員の皆さんからもご意見いただきたいと思っている。現在のスケジュールは10月1日から1月4日までパブリックコメントを予定している。その意見を踏まえて、浜田市公共交通活性化協議会で最終案を作る予定に

江角議員	<p>しているが、議会事務局とも協議して、必要であれば議員との意見交換会等をどこかで開催することを検討し、いずれにしてもしっかり意見をいただきたい。</p> <p>総合振興計画とは性格が違うかもしれないが、総合戦略も含めて丁寧に議会側の意見を聴取されている。この計画も非常に重要だと思っているので、機会を充分作っていただくよう要請しておく。</p>
地域政策部長 西田議長 牛尾昭議員	<p>そのように検討する。</p> <p>他に。牛尾昭議員。</p>
地域政策部長	<p>かつて市内循環コースの路線変更という問題が起きた時に、十分な地元同意も含めて理解が無かったということがあった。当時私の先輩議員が当時の商工課長へ怒鳴りこんで、課長は病気になってしまって1年以上休職した。その件があって石見交通と市が上手く繋がってないのではないかと、会議所もあげて、当時常務だった現社長が申し入れをして、結果的に石見交通の当時の所長を解雇した。そういう不幸な事件があった。結局、十分な周辺同意等が丁寧になされてなかったのが原因だと思うが、そういった経験則を踏まえて。路線変更が小さい商店にとって命取りになることもある。充分ご配慮いただいて結果を出していただきたい。</p> <p>路線見直しにあたっては、乗降調査や周辺住民の意見聴取の場を設け、ご理解いただいた上でやる。栄町経由の路線を全て無くすとは考えていない。残しながら便数を9号線まわりに増やした方が、より利用いただきやすいのではないかと考えている。しかし地域住民からの要望があれば今のような状況を維持する必要があるし、大学循環線の減便についても同様である。今回、旭の瑞穂線の変更等も地域住民の了解をいただいてやっている。充分配慮してやっていきたい。</p>
西田議長 小川議員	<p>他に。小川議員。</p> <p>瑞穂線の関係で少し。計画書3ページにある表だが、瑞穂線というのは民間路線バス12路線の、その中の一部という扱いだと思うが、国県の交付要件が満たせないとのことで石見交通の撤退という話になると思う。そうすると表の路線バス部分の財政支出が若干減り、市の生活バスや乗り合いタクシーが増えてくるという考え方になるのか。</p>
地域政策部長	<p>石見交通への赤字補填は減ると思う。一方で、生活路線バス増便と乗合タクシーの支出が増える。今はまだ試算段階であり、補助金等もあるので大きな支出になるとは思っていない。現在の乗合タクシーはバスの経路と被らないようなルートになっているが、石見交通が撤退すれば市生活路線バスとタクシーを組み合わせた路線が組めるとのことで、地域住民にとってはこれまで以上に細かな運行形態になるのでは。</p>
小川議員	<p>国の補助の目安は1日15人の乗客数となっている。今市から周布までの新しい瑞穂線ではそれが確保出来るのではと認識している。なお、市生活バスやタクシーの運行日や運行経路は地域住民のご意見をいただいて案を作っているの、今まで以上にご利用いただきたい。</p>
地域政策部長	<p>このたびの関係も、15人以上という交付要件がネックになってきていると思う。今後、中山間地域における人口減少を考えた時に、より対象となる路線が増えてくるだろう。この15人以上という交付要件について、緩和等の議論はあるのか。</p> <p>要件緩和について国と議論が出来ているかどうかは把握していないが、</p>

当面浜田市の他の路線では、要件を下まわる状況にはならないと思っている。3年間の計画期間中に国県と協議し、市の財政負担がこれ以上大きくなならないよう努力していきたい。

小川議員

敬老乗車券に関する事業について33ページに出されているが、これでいくと対象になる市民が相当増える可能性がある。現行制度と平成28年度以降の計画との関係で、事業費についての変化等、特徴的な部分があれば。大きく変わるのか、あまり変わらないのか。

地域政策部長

今までは試行は9地区限定で、年度をまたいでやっていたのだが1,000万円弱の経費で終わっている。ただ今後は経費が膨らむと思っている。しかしバスは利用されなくても赤字補填はしている。赤字補填で支出するのか、利用してもらう方に少し多めに支出するかという考え方で、出来れば利用してもらいたい。我々は公共交通にかかる今後の予算を、概ね2億円以内に収めたいと思っている。今は1億6,000万円くらいだが。敬老乗車券を本格実施した場合もこの予算範囲内で可能だと今回試算した。アンケート調査では「補助率が半分でも買う」という声が多かったため、2分の1に設定させてもらった。

西田議長

他に。

(「なし」との声あり)

西田議長

無いようなので(3)については終了する。(4)について、澁谷議員。

澁谷議員

これまで浜田城周辺の環境整備が出来ない理由というのが、正確な図面が無い文化庁の許可が下りないとの話を繰り返し言われていた。今回了解が得られたのか。また、浜田城周辺には公衆トイレが無いとお叱りを受ける。これまでも再三要望はしてきたが、わけの分からない理由をいくつも聞いている。先日の調査会でもトイレ整備の話は無かったがどうお考えか。

地域政策部長

文化庁の許可についてだが、以前はここに城を再建したいという話で、浜田城は焼失したので過去の図面が無いため、再建の許可が得られない状況だった。今回考えているのは、今ある城山公園の原型を残しながら樹木伐採や石積み整備を考えている。事前に県文化財課とも協議しているが、基本的な考え方は理解いただけるのではないかと。整備計画を作ることが前提になると思うが、計画を作りそれに資することであれば可能かと。

それから、ここは自然公園なので自然公園としての許可も要る。それも県担当課と協議し、ある程度の伐採も可能だとのこと。県内事例も参考に、許可を取りながらやっていきたい。

トイレについては我々も必要だと思っているが、設置場所をどこにするか、設置後の管理に課題が残るので、今後はその辺も含めて検討会で議論し、最終的にどうするか決めていきたい。

澁谷議員

先週月曜まで私は議長団の一員だった。しかしこの案件について一言の説明も相談もなかった。毎年暮れには中期財政計画の説明を受けているが、その中には平成33年に赤字になるという話もある。私が特に問題だと思うのは、地方自治体の安定的な財政運営をするには、標準財政規模の3割の財政調整基金が必要だと聞くのだが、それを考えた場合、財政調整基金は一気に減っていくと中期財政計画には書いてある。

この事業は20億円弱の事業規模になっている。そういう大きな事業を、

議長団にも常任委員長にも説明がないまま調査会で話が出て、私は正直驚いた。これまでも執行部には、新聞報道がある前には議員に連絡や説明をして欲しいと何度もお願いしてきたし、それが出来ない場合は最低でも議長と担当常任委員長には連絡、説明、報告をして欲しいと繰り返してきたし、幹部の皆はそれを了承したはず。それなのにこんな大きな事業について、説明もないのは完全に議会軽視だ。議会軽視は市民軽視であり民主主義の軽視である。説明を何故しなかったのか。

地域政策部長

事前に正副議長や常任委員長へ説明しなかったのは、我々の配慮が足りなかった。お詫びしたい。今回考えたのは、事業費等もまだ具体的には出ていないし、これまでご説明した内容で検討会に諮るという考え、とりあえず市民との検討会議を作ることだったので、そこまでの配慮が必要だとは思っていなかった。申し訳なかった。

浜田城や瀬戸ヶ島の関係等は市長の重要施策でもあるし、多額の経費が想定されるので、今後は細かい提案をするにしても事前協議をさせていただきたい。

澁谷議員

検討会を開いて、適宜議会に説明したり意見交換をするという発想自体が極めてナンセンス。議会の声を聞くのが真っ先だろう。このように既成事実を作って、後から議会の承認を得ようなど、完全にマネジメントが間違っていないか。産業建設調査会で先輩議員が、水産業の水揚げが77パーセントでこのままでは40億円ちょっとになる。それなら計画をきちんと作って年ごとの目標を立てるべきだと提案した。しかし担当課は、水揚げは水ものだからそのようなことは言えないといった答弁だった。ならば市長は何故2年前に、10年後100億円という数字を言われたのか。すごく高い理想だが、担当課はそれに向かって努力する、知恵を出すのが組織マネジメントだろう。

それと同じように、これまでもおさかなセンターと仲買売り場をどうするかもないまま瀬戸ヶ島計画を出されたり、パークゴルフは地元の理解が得られないといったことが出てきたりすると、わけが分からないというのが素朴な気持ちだ。

このような重要事項がきちんと説明もないままにいくとは、新しい議長団に喧嘩を売っておられるような印象を受ける。新議長団に敬意を持って説明をされたのか。

地域政策部長

新議長団にも説明はしていない。そういう配慮については今後充分念頭に置く。議員の皆さんに事後承諾をもらうつもりは全く無い。議会と地域に情報提供をしながらご意見をいただき、最終的には議会判断で決まると思っている。認識を新たにして取り組みたい。

西田議員

他に。森谷議員。

森谷議員

スケジュールを見ても城山公園整備と歴史神楽館整備がある。明るい内容だけ書いてあり、今一番話題になっている災害について書かれていない。ここは山崩れ、崖崩れ、津波、川の氾濫の可能性がある。図書館の場所も問題だと思っていて、警察がその横に行くのも防災上問題があると思っている。そもそも市役所が水没しやすい。このように災害が身近でありながら、防災について全く書かれていない。調べると、ここは葬儀場に行く道が1.7メートルだった。防災課で調べて貰ったら、満潮で50センチ上がる。低気圧が来ると50センチ上がる。それに高潮という

のがあるし、吹上効果では大阪では1.5メートルの例がある。道路まで1.7メートルなのに、2メートルから2.5メートル上がってしまう。2年前の8月24日に洪水があった際は浸かるぎりぎりだったことを考えると、4メートルくらいは平気で上がる可能性がある。するとこの周りは完全に水没することもあるはずだが、それについて全く触れていない。トイレも重要だがこちらの問題は人命に関わる。ここまでプラス思考でマイナス面を考えないのは、おめでたいという言い方がぴったりだ。災害について提供していない情報を教えて欲しい。私は、吹上効果や低気圧についてはこれまで何度も執行部に情報提供している。にも関わらず無視とは、舐められていると確信する。何故このような態度でおられるのか。まず災害を無視していることについて。

地域政策部長

災害、特に降雨等での増水についての話があった。確かに河川敷の道路は1.7メートルほどの高さになっている。御便殿を持っていた立正佼成会や、地元の方にも検討会に入ってもらっている。降雨の際の状況等のお話も聞かせてもらおうと思っている。私どもが現在持っている資料では、御便殿の建物の下は約3.6メートルの高さになっている。立正佼成会や地域の方に、過去の水害時にはどういう状況だったかを尋ねるつもりもある。そういった情報を踏まえて、今後の対応をしっかりと議論しなければいけない。

先週の産業建設調査会で、水害だけではなく城山周辺が非常に崩れやすい土質だのご意見をもらっている。検討会ではそれもしっかり議論し、最終的にどうするか、これは歴史館の話が中心になると思うが、そういう議論をさせていただきたい。

森谷議員

1週間くらい前だったか、津波のことが書いてあった。高さ5メートルくらいの津波が来るという前提で色々調べていたが、それを歴史館にも重ね合わせて考えないといけない。島根県が津波被害を想定して計画しているのだから、それに伴って歴史館の件を進めなければいけない。災害時に危険がある所に無理して作る必要は無い。

地域政策部長

災害対策等についても検討会で議論していただき、最終的判断は市がやらなければ。その前段で議員の意見も伺い、最終的には議決をいただくことになると思う。何度も言うが、実際にその地域に住んでいる方の、これまでの状況等も聞きながら、本当にここが適してないのかも含めて議論はしたい。

森谷議員

言い方を聞いていると「どこどこに考えさせる」とか、全くの他人事のように聞こえる。まず自分が考えてからどこかの意見も聞くようでないとい話にならないと思う。私は1ヶ月以上前から資料をあげているのだから、そんな熱意では困る。それから、何とか会何とか会と言うが、これを見ているとその辺でどこでも役をやるような人で構成された会のようなのだが、そうではなく、サイレントマジョリティを数人入れる等の努力をしないとイケないし、まず起案の段階から、起案書は情報公開請求で公開出来るものなのだから、起案の段階で情報はぽつぽつ出しておけば、いちいち報告せずともこちらから訊くことも出来る。執行部は市長から命令が下っているのか、意地でも発表しないだろう。だから起案書の段階で目次でも上げるようにするシステムを考えるのが大事だと思う。サイレントマジョリティの採用について考えを伺う。

地域政策部長

具体的にそれに該当する方がどういう方かは分からないが、地域に住んでおられる各種団体の方ではなく、一住民の方からも出ていただくことを考えている。そういう意味では幅広い意見を拾いたい。

西田議長

他に。

牛尾昭議員

先週金曜の所管委員会を欠席し、日本商工会議所の全国観光研究振興大会に参加していた。1年前から予定が決まっていたのと、開府400年事業のサンプルになるべき案件（徳川家康没後400年事業）があったから政府が掲げる3,000万人を海外から呼び込もうというインバウンド事業が私の担当だった。私はこの案について早く出して欲しいとかねがね言ってきた。出てくる過程については同僚議員の言ったような部分もあるだろうが、もっと早く出して欲しかった。例えば津波にしても松江気象台100年史によると、ここ1000年浜田地域に津波は無かった。こういう物は、おかしいことをおかしいと言うのは当然。だけどプラス思考で浜田藩開府400年事業をどうやっていくかをまず議論すべき、その中で是々非々でやっていくべきだろう。これは是非実現させるべき案件だと私は思っている。

江角議員

正副議長と正副市長がおられるので、取り入れていただけるなら取り入れてもらいたい考えを述べる。こういった事業については入口が非常に重要だ。検討会で検討してもらおうということだが、議会側に最低限の共通認識が無いと、検討結果が上がってきてもまた同じような議論をすることになる。少し議会全体として、この件で意見交換なり行う場を設けてもらい、検討会にかけていく方がベターではないか。

各調査会でも出ていたのは、神楽館などは不要ではないかという意見だったが、私は複合施設としては必要ではないかという調査結果も踏まえて……今回のポイントは学習交流の場がそれに値しているのか、これはこれ、ここで色んなことをするから神楽の施設とは言えないので、もう一つ他の場所に持っていくという考えなのか、その辺りも整理して、どういった形で検討会に投げて議論してもらうかの方が大事なので、一度そういう場を持ってもらいたい。

地域政策部長

正副議長と協議させていただき、いずれにしても議員との意見交換会は開催する考えなので、時期や内容については議会事務局と協議させてもらう。

西田議長

他に。

（「なし」との声あり）

西田議長

無いようなら、今色々ご質問が多く出た。議長団としても検討会については真剣に執行部と協議したいと思う。それから、議長団も新しいが議会と執行部との歯車がしっかり噛み合うためにも、新議長団に対しての配慮をお願いする。

ここで暫時休憩する。再開を15分とする。

〔 11 時 07 分 休憩 〕

〔 11 時 14 分 再開 〕

西田議長

会議を再開する。

(5) 浜田市ふるさと寄附の状況について

西田議長
財務部長
西田議長
岡野議員

この件について説明をお願いします。財務部長。

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わった。議員から質問は。岡野議員。

ふるさとチョイスの中で、浜田市の応援メッセージが毎日ものすごい数書かれている。(以下、いくつか読み上げ)このように多くの意見をもっている。それを出来るだけ市政に活用してもらいたい。

去年は寄附額が全国6位で件数が5位、今年去年より伸びている。ふるさとチョイスは3自治体ほどが殿堂入りしているが、殿堂入りのお陰でかなり伸びると思うので、目標額と目標順位を聞きたい。

財務部長

はっきりした数字は掴んでいないが、1位はまぎれもなく都城市、恐らく20億円近いと思われる。2位が天童市で15億越える。ベスト3までは最終的に20億を超えると試算している。その中に浜田市が入るのは大変で、品量が無いので苦戦している。一定量がもっと供給出来ると寄附額が伸びると考えるが、現在まだそれが出来ていないし、肝心の肉で勝てない。他の自治体がすごく力を入れていて、ベスト10に入れるか冷や冷やしている。平成26年に全国1位だった米子は今やベスト20にも入れない。全国各自治体がふるさと寄附に着目して、都心部でもこれを手がけ出している状況がある。その中で浜田市が10、11億。7位、8位くらいだと見ている。この下に続くのが備前市の約10億。備前市も今回全く初めてのベスト10入りで、主力は何と電化製品である。浜田市は節度を持って色んなことで制約があっても寄附額が落ちない形で、地元企業に貢献出来ればと考えている。

もう1点。色々ご指摘をいただいたし、確かに色んな声をいただく。お褒めの声をたくさんいただいている。しかし日々の仕事で手一杯で、ふるさとチョイスの声以外にも電話やファックスで直接いただくこともある。その中には若干クレームもある。それを少しでも見直すことで更にファンが増える、浜田市のブランド名が高まる。他自治体との差別化をはかるためにもクレーム対応をしっかりし、浜田ブランドを高めたい。

西田議員
牛尾昭議員

他に。牛尾昭議員。

石見神楽の上演を首都圏でというのは良いアイデアだ。浜田の神楽の舞手が東京へ就職し、東京石見神楽社中というのを作っている。先般、川越に住む後輩から「是非東京石見神楽社中を使って欲しい」という話があり、川越の議長は浜田藩の末裔なのでイベントで使ってくれるよう頼んだ。そういう人たちがいるので使っていただきたい。

現在浜田産ノドグロの半分を買うのは一六堂で、そのチェーン店は東京周辺に70店舗以上あるので、是非こちらからアプローチをかけたなら、首都圏からの納税が増えると思う。提案しておく。

財務部長

神楽の件はご指摘のとおりで、関東圏で神楽の舞手がいれば有効活用し、これを事業化出来ないか考えている。石見神楽が首都圏でブランドにならないか、色んなことを総合的に考えて今後はかっていきたい。御指導をお願いします。

一六堂については交渉をしているが、今回は難しいとのことだったので、今後キャピタル東急や他2つの組み合わせでどういう実績が出るかを

踏まえ、再チャレンジしたい。

西田議員 他に。笹田議員。

笹田議員 11億円の目途が立ったのは喜ばしい。今の段階で希望使途の割合が分かれば。

財務部長 手元の詳細を持ち合わせていない。というのも6月時点の補正で総額8億6,700万円の積立を行っている。その後、27年度中の約11億円の数字については、概ね掴んではいるが積み立てる金額には至っていない。ただし、5つに分けているが当初予定していた5項目の中で、やはりその他が大きい。市長に委ねる割合が37パーセント前後だと自覚している。今後11月、12月の数字が出てくる。それによって大きく違ってくるものと考えている。

笹田議員 6月補正で、そこが大きくなるのではないかと質問をさせてもらった。結局狭まってもそこに集中するというのは、指定するやり方が不味かったのではないかと個人的に思っているが、部長はどうお考えか。

財務部長 なかなか厳しいご指摘だが、やってみて初めて結果が出る。当初は4つから具体的に選んだ方が選びやすいのではというニュアンスだった。もう少し様子見させてもらい、パーセンテージがどう変化するのか推移を見ていきたい。

西田議員 他に。

西田議員 (「なし」という声あり)

西田議員 無いようなので、この件については終了する。

(6) 「浜田市火葬場整備計画」に対する葬祭会館等の意見

西田議長 この件について説明をお願いします。市民生活部長。

市民生活部長 (以下、資料をもとに説明)

西田議長 説明が終わった。議員から質問は。江角議員。

江角議員 前回の定例会一般質問の答弁で初めて聞き、一体どうなっているのかというのが率直な気持ち。議論を尽くして当面残すという結論に至ったと思っている。昨年6月議会でも、今言われていることそのものを提起したが、その時の回答は議会あるいは市民に対する答弁だと受け止めた。その時に言ったのは、市民一人一人は一生のうちでそう何度も火葬場に行くことはないだろう。しかし今調査したのは火葬場に一番多く絡んでいる方だから、何故この計画づくりの際に意見を聞かなかったのか。聞かずに提案されているから、早急に意見を聞いて計画に反映すべきだと申し上げたら、1年以上経ってようやく調査の運びとなった。正直どうなっているのか。何故、提起の際に調査されなかったのか。計画づくりの際に意見を聞かなかったのか。また、今ここになってそのことを更に再検討することに至った経緯についてだけ聞いて、ここでは正式な議事録に残らないため一般質問でさせていただくつもりだ。先ほど言った点についての答弁をお願いします。

市民生活部長 江角議員から質問いただいた後すぐにしなかったことについては、当時の担当者ではなかったので詳しくは存じ上げないが、聞いたところによると、整備計画を作る段で葬儀業者から意見は聞いたとのこと。それがどの程度だったか疑問は残るし、事実その答弁が出来なかったということは、突っ込んだ質問や確認はしなかったのだろうと思う。そうした

意味で、1人1人の市民の方が滅多に使わない施設であることから、葬祭関係事業者の方の声が市民の声に最も近いだろうという観点から意見聴取が足りなかった、もっとすべきだったと思う。

何故今頃になってという質問だが、来年度設計に入るため、統合に向けて進めなければならない。現実には目の前に来た段階で事業費も決めなければならないし、規模も詰めなければならない。最初に着手するにおいてはもう少し検討の必要があるのではという意見を内外から聞き、市長からももう少し検討せよとの指示を受けたので、今回のような形になった。

西田議員
牛尾昭議員

江角議員よろしいか。はい。牛尾昭議員。

浜田の副代表が一般質問するというので、私は旧浜田の議員として伺っておきたい。この事業は前市長の晩年の事業だった。旧浜田の議員が大きい声を上げると潰れるだろうと思って私は一切黙っていた。しかし統廃合はやらねばならない、旧浜田の議員が黙っていれば三隅で収まるだろうし、それが将来の浜田市財政にとって良いだろうと思っていた。それが見直しとなり非常に複雑だ。既定路線で来ていたはずなのに、何を今更という気持ちと、何故あの時もっとやっていたくれなかったのか。宇津前市長の晩年の事業だから反対出来ないという私自身の宇津さんとの絆もあった。しかしこういうものを提案されると非常に複雑。実施計画をやるにあたりもう1回精査する考え方は間違っていないと思うが、今日ここまでこの方向で来たのだから、それを覆すに足りるような明確な提案をしていただき、それに納得する路線を作ってもらわないと。答弁は要らないが、今言ったことを用意して説得してもらいたい。

市民生活部長
西田議員

そのようにさせていただく。

他に。

(「なし」という声あり)

西田議員

無いようなので、この件については終了する。

(7) 浜田港長期構想検討委員会について

西田議長
産業経済部長
西田議長

この件について説明をお願いします。産業経済部長。

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わった。議員から質問は。

(「なし」という声あり)

西田議長

無いようなので、この件については終了する。

(8) 「故石本正先生を偲ぶ会」について

西田議長
教育部長
西田議長

この件について説明をお願いします。教育部長。

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わった。議員から質問は。

(「なし」という声あり)

西田議長

無いようなので、この件については終了する。

(9) 旭温泉あさひ荘木質チップボイラの状況について

西田議長
旭支所長

この件について説明をお願いします。旭支所長。

(以下、資料をもとに説明)

西田議長 森谷議員	説明が終わった。議員から質問は。森谷議員。 ランニングコストについて。結果的にチップ購入が不要になったので安くなっているが、代わりに重油をたくさん購入しなければならなくなった。プラマイナスいくらか、月々の支出はいくら違うのか。
旭支所長	この間はレジオネラ菌の件で2回運転を止めており、期間中のコストは把握出来ない。重油もこの期間は安かったが、チップを使う方が低コストだった。
森谷議員 旭支所長	資料に基づいた回答ではないように聞こえる。後で教えて欲しい。 金額は昨年度ベースの実績で160万円を予定していたが、実際には100万円ちょっとの燃料代なので、安くなっていると思う。
森谷議員	それはトータルの話だ。休止していたら安いに決まっている。そうではなく月単位の話が聞きたかった。
西田議員	他に。
西田議員	（ 「なし」という声あり ） 無いようなので、この件については終了する。

(10) 市街地下水道整備事業計画の見直しについて

西田議長 上下水道部長 西田議長	この件について説明をお願いします。上下水道部長。 （ 以下、資料をもとに説明 ） 説明が終わった。議員から質問は。
西田議長	（ 「なし」という声あり ） 無いようなので、この件については終了する。

(11) その他

(配布物)

- ・ 米軍機低空飛行訓練による騒音等の状況について
- ・ 海上自衛隊艦艇物資補給基地誘致の要望活動について
- ・ 平成27年度税制改正について
- ・ 浜田市国民健康保険等ドック事業及び特定健診事業の自己負担金の改定等について
- ・ マイナンバー（個人番号）相談窓口の開設について
- ・ 浜田市デジタルフォトコンテストについて
- ・ 浜田市プレミアム付共通商品券の販売状況について
- ・ 漁業別水揚げについて
- ・ サン・ビレッジ浜田 スポーツ広場の整備について
- ・ 旭図書館移転事業について
- ・ 美又温泉国民保養センターについて
- ・ 三隅中央会館和紙の郷（石州和紙会館）について

西田議長	その他、配布物については多いので説明を省略する。議員各自でしっかり目を通して欲しい。執行部に対してその他でご質問は。森谷議員。
森谷議員	市営駐車場の件について。3つを指定業者に任せるとのことで、民間でやってくれる人がいたら活性化で良いんじゃないかと聞いていたが、先日偶然に、観光協会に決まったのだと担当課で聞いた。市内の人に聞いたら、自分はやらないと言われた、これが商店街の意見だと言うことで終わった。何故観光協会なのかも分からないし、今は浜田市が持っているので自分の契約で出来るのだが、観光協会になるとイメージとしては

仲介業者のようになる。となると資格がないと出来ない。そういうことを何も検討せず決まったような気がする。

栄町駐車場の場合は隣が不動産業者だが、打診も無かった。こういう話なら是非やりたいと言っていた。

これと似ているが、雇用促進住宅の指定管理者の選定があったと思う。私自身も5年前に申請している。しかし私もその他業者も、今回の件を知らなかった。担当課に聞けば、ホームページに載せていると済まなさそうに言われた。バスの件は可能性のある業者に手紙を出すらしいが、私らは手紙など貰ってない。

森谷議員、深いご意見なら是非一般質問で。

一般質問はもう用意して書いている。

状況確認に留めて欲しい。

皆が早めに分かるように説明して欲しい。

市営駐車場の指定管理については、6月議会で条例改正をさせていただき、その時に公募によって指定管理を進めていきたいとお話をした。ただその際に、市営駐車場を活用して商店街の活性化等も図った方が良いというご意見もあったため、それを持ち帰り内部で検討した。確かに議員の仰るように商店街活性化のためには必要だとの判断で、銀天街商店街等に打診をしてみたが、その時点では十分な意向がなかった。多くの方に聞いたのかと言われると、少人数に聞いたような状況だった。その後、推進本部会議で検討し、公募で考えていたが指名でいきたい、商店街活性化も踏まえてやるには指名にした方が効率的・効果的ではないかという話になり、指名でやらせて欲しいと、9月の総務文教調査会内で位置づけさせてもらった。内々には観光協会へという副案があったが、9月調査会の中では、指名業者の公表は積極的にお話してなかった。

指定管理の協定を結ぶにあたり、浜田市が求めている地域商店街等の活性化に資する施設として指定管理してもらうには、一定の提案等も必要だということで縷々詰めてきたが、まだ煮詰まっていないため、12月議会での提案は見送らせてもらったような状況である。このことは総務文教の正副委員長と議長団には説明をさせてもらっている。観光協会には再度こちらが求めている内容で提案されて、それが浜田市にとっても観光協会にとってもメリットがある内容で協定が結べたら、3月議会に提案させて欲しい。

浜田城の件、澁谷さんも言われたが、パッと出る。これもパッと出る感じ。雇用促進も、公開情報を流してなくはないけど、皆に知らせてはないという結果で、とかく噂がある業者が雇用促進住宅4つを独占する結果になっている。そういう状態はかなり不味い。情報提供のやり方を考えるべきだ。

情報提供については充分留意する。雇用促進住宅の指定管理については12月議会で提案させていただく予定なので、その際に充分議論いただきたい。

他に

(「なし」という声あり)

無いようなので、ここで議題1は終了する。

ここで執行部は退席されて結構である。

西田議員
森谷議員
西田議員
森谷議員
総務部長

森谷議員

総務部長

西田議長

西田議長

《 執行部、退席 》

2. その他

(1) 地域井戸端会での意見などの活用方法について

西田議長	広報広聴副委員長から。
串崎議員	(以下、資料をもとに説明)
西田議員	地域井戸端会の意見の活用については広報広聴委員会でまた後日とのことなので、そのように。
	その他、議員からあれば。
	(「なし」という声あり)
西田議長	では以上で全員協議会を終了する。

[12時 17分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 西 田 清 久